

OPIc・協賛/受験喚起コメント

こんにちは！獨協高等学校3年 狩野晋一郎と申します。

私は中学3年から現在に至るまで、約3年間ドイツ語を高校の選択科目として学んでいます。

A. OPIcを受験した経緯

第12回シンポジウム（主催：日本外国語推進機構）の高校生セッションで『多様な外国語を学ぶ私たちがいま高校の仲間に伝えたいこと』のモットーの下、講演をさせていただき、参加記念品として、OPIc（ドイツ語）無償受験機会をいただきました。

B. OPIcを受験した時期・感想

私は7月15日から7月22日まで、国際ドイツ語オリンピック* ([Internationale Deutsch- Olympiade 2024 - Goethe-Institut](#)) の日本代表（A2レベル・国内大会1位）としてドイツで活動していました。国際ドイツ語オリンピックで得たドイツ語力を試すために、帰国後 OPIc を受験させていただきました。OPIc では自分に合ったテーマでスピーキングテストを受験できたため、あまり焦らず普段と同じように話すことができました。残念ながら、目標としていたレベルには達しませんでした。取得レベルの確認ができ、とても良い経験になりました。

*国際ドイツ語オリンピック…2年に1度、世界中でドイツ語を学習している生徒を対象に、リスニング、面接、リーディング、作文、プレゼンテーションなどの総合力でドイツ語の力を競う大会。世界から数百万人が参加し、ドイツで行われる国際大会には、各国の選考を勝ち抜いた14~17歳の生徒が100人程度集まり、約1週間かけて3つのレベル（A2/B1/B2）で順位を争う。

C. その他・今後に向けて

私は、OPIc 受験がきっかけで、ドイツ語のスピーキングを強化しようと思ひ、ドイツ語スピーチコンテストなどに挑戦しようと思っています。今後もドイツ語を学び続け、定期的に OPIc を受験し、将来的に私の目標とするレベルである C1 を取得できるように頑張りたいと思います。

末尾ではございますが、このような受験機会をくださった JACTFL の方々、そして GLOBAL8 の皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。